

学習指導案の形式（例） 中学校総合的な学習の時間

第○学年○組 総合的な学習の時間 学習指導案

平成○年○月○日（○） 第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○

◇どのような横断的・総合的な学習や探究的な学習が展開されるかを端的に表現する。
 ※生徒の学習の姿が具体的にイメージできること、学習の目的や高まりが把握できることに配慮する。

2 単元設定の理由

◇なぜこの単元を設定したかについて、様々な要素からその設定理由を述べる。
 ※要素としては、「生徒の実態」「育てようとする資質や能力及び態度」「内容について（教材について）」「教師の願い」「地域や学校の特色」「社会の要請」「学校の研究課題との関連」「各教科等との関連」などが挙げられる。
 ◇指導者の立場で書く。

3 単元の目標

◇どのような学習を通して、生徒にどのような内容を学ばせ、どのような資質や能力及び態度を育成するのかを明確に示す。
 ※各学校の目標や内容、育てようとする資質や能力及び態度を視野に入れ、中核となる学習活動をもとに構成することが考えられる。
 ※一文で示す場合と箇条書きにして示す場合が考えられる。
 ◇生徒の立場で書く。

4 単元の評価規準

評価の観点				
評価規準	◇各学校によって育てようとする資質や能力及び態度が異なるため、学校が設定した評価の観点に基づいて単元の評価規準を示す。			

◇評価の観点の例

○総合的な学習の時間の目標を踏まえた観点

例 「よりよく問題を解決する資質や能力」「学び方、ものの考え方」「主体的、創造的、協同的に取り組む態度」「自己の生き方」

○育てようとする資質や能力及び態度を踏まえた観点

例 1 「学習方法に関すること」「自分自身に関すること」「他者や社会とのかかわりに関すること」

例 2 「課題設定の力」「情報収集の力」「将来設計の力」「社会参画の力」

○教科との関連を明確にした観点

例 「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」

※評価規準については、学習活動との関連において、その場面で生徒に期待される学習の姿を想定して設定する。

◇生徒の立場で書く。

5 指導と評価の計画（全○時間）

小単元名 (時数)	時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1 ○○○○ ○○○○ (○時間)	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ◇学習過程に沿って生徒の活動を書く。 ◇一人一人の生徒が何をめあてに活動すればよいのかをつかめるように具体的に書く。 <ul style="list-style-type: none"> ◇文末表現の例 ～を確かめる。 ～に気付く。 ～を知る。 ～を考える。 ～を発表する。 	<p>○評価規準 〔評価の観点〕(評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇評価規準(期待される生徒の姿)を具体的に書く。 ◇単元の目標との整合を図る。 ◇評価の観点を踏まえて書く。 ◇自己評価や相互評価、それらの規準にも触れる。 ◇評価方法も書く。 行動の様子、 学習シートの記述、 制作物、ポートフォリオ、 評価シートの記述 等
2		<ul style="list-style-type: none"> • 	
3		<ul style="list-style-type: none"> • 	
4		<ul style="list-style-type: none"> • <p style="text-align: center;">◇生徒の立場で書く。</p>	<p style="text-align: center;">◇生徒の立場で書く。</p>

6 本時案（第○小単元 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇本時の学習活動でねらいとしていることを具体的に記述する。
- ◇生徒の立場で書く。

例：(学習内容)により、(目指す児童の姿)をすることができる。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1	○学習活動に対して主となる指導・支援を書く。	
◇生徒の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇生徒の立場で書く。
<p>2</p> <p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って児童の学習活動を書く。</p> <p>◇一人一人の児童が何をめあてに活動すればよいのかをつかめるように具体的に書く。</p> <p>◇岡山型学習指導のスタンダードの単位時間の授業5（ファイブ）を参考にする。</p>	<p>めあて</p> <p>○◇児童の目的意識のまとめや活動目標など、本時のめあてを示す。</p> <p>○◇本時で何をどのように学ぶかの見通しがもてるようにする。</p> <p>○例：～することで、～できるようにする。</p> <p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。</p> <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>○(例) 例：～のグループの～には～をする。困っている生徒には生徒には～できるよう声かけをする。</p> <p>◇評価規準に示す生徒の姿が実現していない。」状況と判断される場合における生徒への手だての例を示す。</p> <p>まとめ</p> <p>○◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、めあてと対応したまとめの文章表現の例を示す。</p> <p>○◇まとめは、本時の目標や学習内容に応じて柔軟に位置付ける。</p>	<p>◇本時の目標との整合を図る。</p> <p>評価の場面は1、2か所。</p> <p>◇評価規準を具体的に書く。</p> <p>◇評価の観点や方法を書く。</p> <p>[評価の観点] (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・学習シートの記述 ・制作物 ・ポートフォリオ ・評価シートの記述等 <p>○例：～したりしながら、進んで交流している。[より良く問題を解決する資質や能力] (行動の観察)</p>
3	○	
4	○	

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿の例

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿を具体的に書く。